

# 県立病院、河川対策など県政課題も次々要望 日本共産党市議団主催の「市政と県政を語る会」

日本共産党議員団主催の「市政と県政を語る会」を5月25日、開催しました。新型コロナウイルス感染症の関係もあって開催は数年ぶりでした。そして、今回は4月の県議選で当選した馬場秀幸県議からも参加してもらいました。参加者は主催者をのぞくと、20人ほどでしたが、暮らしにかかわる身近な問題が次々出され、活発な集いとなりました。

参加者からは、

- 並行在来線の経営は大変厳しい。高校生の大事な通学の足となっているが、対策について打ち出してほしい。
- このままでは街中でも買い物難民が出る。デマンドバスを走らせないか。
- 県立病院の医師不足が深刻だ。地域医療を守るために頑張ってもらいたい。
- 介護保険の要介護1と2を保険対象外にし、市の総合事業に移行しようとしている。上越市がこれにいち早く手をあげるのには問題ではないか。
- 市民プラザの市民活動室はコロナ前の

午後10時まで利用できるようにしてもらいたい。

また、この活動室の上部に防犯カメラが設置されているようでいやだ。

- 市内の公園に大人たちが体を鍛えられるロッキングボードなど施設を設置してほしい。
- 市内を流れる河川の洪水防止対策が重要だ。中洲の泥や砂利の撤去、雑木処理などをやってほしい。
- 地域独自予算は何を求めているかわからない。
- 図書館のスタッフの名札に『会計年度任用職員』『非常勤』などと書かれているのを見かけたが、違和感がある。
- 市内の農家は5年前よりも27%も減って、4900戸となった。家族農業を守る対策を。



などの声が次々と上がりました。

今回は県立病院や県管理の河川対策など市政、県政双方にまたがる問題でこれまでにない意見交換ができました。馬場県議が関わったこともあって、たびたび、笑いや拍手も起きて、とても有意義な会となりました。これからも続けていきたいと思えます。出されたご意見要望はよく調べた上で対応します。

## 6日から6月議会がはじまります

### 6月議会審議日程 (いずれも開始時間は午前10時)

月 日	会議	場所	備考
6月6日 (火)	本会議	議場	議案提案・総括質疑 (橋爪登壇予定)
6月7日 (水)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月8日 (木)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月9日 (金)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月12日 (月)	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月13日 (火)	一般質問	議場	私は16日に登壇する予定です。
6月14日 (水)	一般質問	議場	
6月15日 (木)	一般質問	議場	
6月16日 (金)	一般質問	議場	
6月20日 (火)	本会議	議場	議案採決など

左表のとおり、6月定例市議会が6日より20日まで行われます。今議会は物価高騰対策が中心となります。初日の総括質疑では、今回、新規事業として予算計上された介護保険施設及び障害者施設等を運営する法人、畜産農家などへの物価高騰対策支援について、私が登壇して市長の考えを聞きます。



【キンギンボク】スイカズラ科の落葉低木。漢字で「金銀木」と書きます。別名、ヒョウタンボク。有毒植物。樹高は1~2m。若い枝は淡緑色で短軟毛が密生しています。花期は4月から6月。花の色は最初は白、その後、黄色となります。花言葉は「協力を得る」。写真は、5月3日、吉川区竹直にて撮影しました。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2112 2023.6.4

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第七五九回 三十三観音再訪

五月下旬の晴れた日、頸城区中島にある三十三観音を訪れました。二年ぶり、二度目のお参りです。

今回は前回よりも二週間ほど早くお参りに行ったことで、前回とは違った雰囲気の中で野の花や樹木などが出会うことができました。

県道の広いところに車を駐車して歩いたのですが、三十三観音に至る道の周辺では、前回気づけなかった植物といくつも出会い、植生(しよくせい)が変わったのかと思っけらいました。

まずはエゴの木です。道の出発点から始まり、一〇分ほど白い花がたくさん落ちていました。花を見つけて頭上を見ると、房状の白い花が下向きに咲いています。落とした花で木に気づいてもらおう。これなら、だれもが関心をもってくれるでしょうね。こういう場所はもう一か所ありました。

アキギリとも出合いました。大島区の旭地区で「嫁泣かせ」と呼ばれている山菜です。秋にはサルビアの花と同じ形の紫色の花を咲かせます。吉川区の六角山などにもありますから、そこからそう遠くない中島(畑ヶ崎)にあっても不思議はないのですが、それでもびっけらりました。

前回とは全く違う場所で見つけた花もあります。シソ科の多年草、タツナミソウですが、今回は道の入り口付近で見つけたので、今回はそこには一つもなく、あきらめていました。ところが、薬師堂から三十三観音に向けて十数分ほどのところで咲いていたのです。わずかに二株でしたが、波のような形の花姿は個性的で美しい。今年も咲いていて、うれしくなりました。

前回とは違った感じがしたのは植物だけではなく、歩く時の気分もまた違いました。何よりも道を歩く時の風の心地よさ、これはずっと感じました。畑ヶ崎方面から道沿いに吹き上げてくる風はじつにさ

わやかで、最高でした。風は、言うまでもなく草木にも吹きます。ミヨウガ、ナラ、サカキ、ガマズミの葉などがひっきりなしに揺さぶられていました。それと田んぼでの草刈り機の音です。平日にもかかわらず、数台の草刈り機が動いていて、時々、「チーン」「チンチン」などといった音が聞こえてきました。

さて、三十三観音です。観音様は全体として、人間のあらゆる苦悩、喜びを表していると思っけいたのですが、なぜか左側の観音様は悲しみを、右側の観音様は喜びを表している風に見えました。夕方の時間帯の光の当たり具合、観音様に張り付いたコケ類の影響があつたせいかも知れませんが、それぞれの観音様にお参りしてから、広場の一角にある案内板のところへ行きました。そこで、入口から霊場に至る道の途中にある石柱の文字、「慈眼視衆生・福聚海無量」についての説明文を読んで、ハッとしました。説明文には、「慈悲の眼で衆生を見る」「海に水が集まるように限りなく福が集まる」と書いてあつたのですが、「福が集まる」という言葉が心に響いたのです。私の勝手な解釈かも知れませんが、困ったり、苦しんだりしている生命や人々に手を差し伸べる、そのことが多くの福をもたらし、という風に読めたのです。

今年初めての出会いもありました。観音様の広場にいたとき、私の周辺をサーッと飛んで行ったものがありました。一瞬でしたので、よく見えませんでした。全体的には黒く、一部白いものが見えました。たぶん、モンキアゲハだと思っけいます。そして帰り道、杉林の中に素敵なものを見つけました。モミジイチゴの黄色い実です。もう、そんな時期になつたんですね。

二百八年前に畑ヶ崎の布施助二良という人が作つたと言われるこの霊場、次回はアキギリの花が咲く頃と思っけいます。

## 尾神岳で市長杯パラグライダー競技大会

上越市長杯パラグライダー大会が5月27日、28日の両日、吉川区の尾神岳にて行われました。大会には北は北海道から南は兵庫県まで83人の選手が参加しました。

パラの大会というといふ雨が降る、かつてはそういうわれたほどよく雨が降りました。でも今回は、まさに大会日和、天候に恵まれました。

参加した選手の話では、「尾神岳は海が見え、とてもいい場所だ」とのことでした。



私も久しぶりに数十機のパラグライダーが飛ぶ尾神岳を見ました。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことでした。

	5月24日(水)	5月31日(水)
上越南消防署	0.050	0.053
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.053	0.040
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.053	0.047

## 大島郵便局で切手画展開催中



大島区の大島郵便局で切手画展が開催中です。切手画は清里区東戸野の吉越智秀さんの作品です。

吉越さんの切手画はこれまでも何度か見せていただいておりますが、毎回思うのは、切手でびたりの色をよく出せるなということです。すごい技術と感性だと思います。